

感謝の心をこめて

**Challenge & Smile**



平成25年11月29日

No. 13-248

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

**愛媛県内民間企業の冬季ボーナス支給見込みアンケート結果のお知らせ  
～景気回復を受け、冬のボーナス2年ぶり増加～**

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 山崎 正人）では、このたび別紙のとおり、愛媛県内民間企業の冬季ボーナス支給見込みアンケート結果を取りまとめましたので、お知らせいたします。

以上

## 景気回復を受け、

## 冬のボーナス 2年ぶり増加

— 2013年冬季 県内民間企業ボーナス支給見込みアンケート結果 —

1. この冬の県内民間企業の従業員 1人当たりボーナス支給見込み額は前年を 1.2%上回る 39万8千円と、2年ぶりに前年を上回った。
2. 県内民間企業の支給見込み総額は、1人当たり支給額は前年比 1.2%増加となったものの、支給対象人員が減少したため、前年比 0.1%増とほぼ横ばいの約 1,202 億円となった。
3. 1人当たり支給見込み額の部門別の前年比増減率をみると、製造業は前年比 0.3%減、非製造業は同 1.6%増となった。業種別では、公共工事や住宅着工が増加している「建設」が同 9.0%増となった。

わが国経済は、昨年末の政権交代以降、円安株高が進み、企業の業績が改善し設備投資も上向くなど景気回復基調にあります。併せて、個人消費においても消費マインドの改善が見られます。

一方、県内経済は、年半ばまでは個人消費や生産活動などを中心に総じて弱い動きが続きましたが、公共工事や住宅建設を中心として持ち直しの動きが続いています。

こうしたなか、弊社では、今冬の県内民間企業のボーナス支給動向を把握するため、10月下旬にアンケートを実施しました。この度その結果がまとまりましたので、ご報告します。

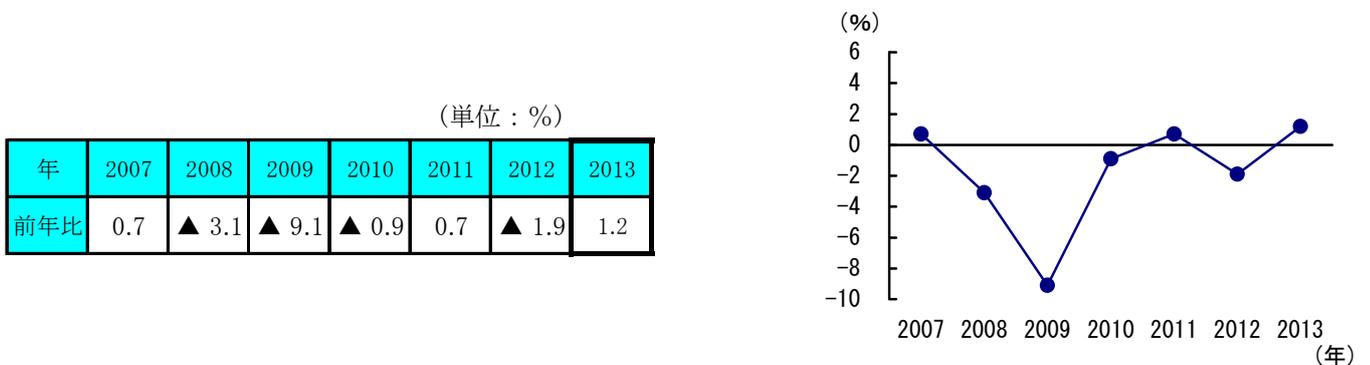
調査要領	調査対象	愛媛県内に事業所を置く民間企業	773社
	調査方法	郵送によるアンケート方式	
	調査時期	2013年10月下旬	
	回答状況	有効回答企業数	329社
		有効回答率	42.6%

**1** 県内民間企業従業員 1 人当たり支給見込み額  
～39 万 8 千円、前年比 1.2%増加～

アンケート結果および経済センサスに基づき、県内民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給見込み額（税込み、以下同じ）を推計した結果、前年比 1.2%増の 39 万 8 千円となった。

なお、全国の民間企業の従業員 1 人当たりボーナス支給予想額は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングでは前年比 0.5%増の 36 万 8 千円、第一生命経済研究所では同 1.5%増の 37 万 1 千円、みずほ総合研究所では同 0.9%増の 36 万 9 千円となっている。

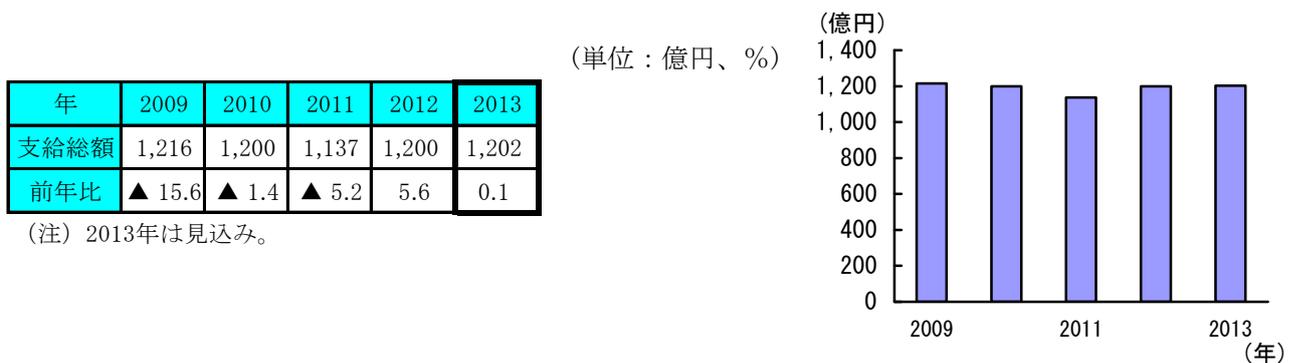
図表－1 県内民間企業冬のボーナス従業員 1 人当たり支給額前年比増減率の推移  
(アンケート回答企業、修正後)



**2** 県内民間企業の支給見込み総額  
～約 1,202 億円、前年比 0.1%増加～

アンケート結果および毎月勤労統計調査等に基づき、県内民間企業のボーナス支給見込み総額を推計すると、1 人当たり支給額は前年比 1.2%増となったものの、支給対象人員が 1.1%減少したことから、前年比 0.1%増とほぼ横ばいの約 1,202 億円となった。

図表－2 県内民間企業冬のボーナス支給総額の推移（推計）



## 3

## 部門別・業種別動向

～製造業は減少、非製造業は増加～

県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額（修正後）を部門別にみると、製造業は前年比0.3%減の48万3千円、非製造業は前年比1.6%増の37万8千円となった。

製造業では「食料品」（前年比2.0%増）、「印刷」（同1.8%増）など4業種が前年を上回った一方、「繊維」（同1.6%減）や「機械・金属」（同0.8%減）などで前年割れとなった。

非製造業では、公共工事や住宅着工が増加している「建設」（同9.0%増）をはじめとして、すべての業種で前年を上回った。

なお、支給月数は全業種平均で前年比横ばいの1.74ヵ月となった。

図表－3 業種別の増減

(従業員1人当たり支給見込み額の増減率)

(単位：%)

増減	製造業	非製造業
増加	食料品 2.0	建設 9.0
	印刷 1.8	小売 3.2
	木材・木製品 1.6	卸売 2.1
	紙・パルプ 1.5	運輸 0.5
減少	化学・石油 ▲0.0	サービス 0.3
	機械・金属 ▲0.8	
	繊維 ▲1.6	

(注) アンケート回答企業、業種別従業員1人当たり支給見込み額等の詳細は図表－5参照。

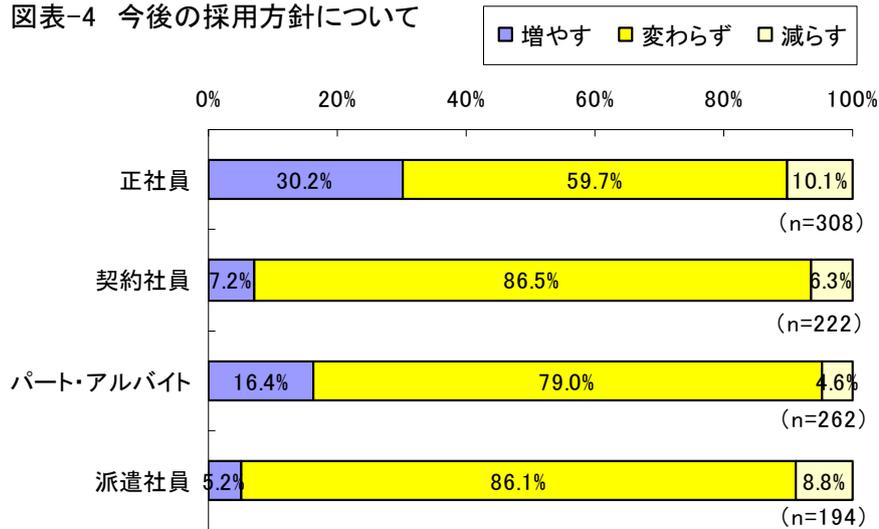
## 4

### 今後の採用方針 ～一部に明るい兆し～

今後の採用方針について尋ねたところ、「変わらず」との回答が大勢を占めたものの、正社員やパート・アルバイトでは「増やす」が「減らす」を大幅に上回り、一部に明るい兆しも見受けられる。

県内の有効求人倍率は着実に改善し、雇用面で緩やかな回復が続いているが、調査結果をみると、先行きに対する不安感からか慎重な姿勢を崩していない企業が依然多いことがうかがえる。

図表-4 今後の採用方針について



(注) 小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

## まとめ

以上のように、この冬の県内民間企業の従業員1人当たりボーナス支給見込み額は、2年ぶりに前年を上回った。今後は、円安、原燃料高に伴うコスト上昇、また消費税率引き上げ後は、駆け込み需要の反動や消費マインドの悪化により、企業の収益環境は再び厳しくなることも予想され、県内の雇用や所得環境への影響が懸念される。

なお、最後になりましたが、本調査にあたり、数多くの企業の方々にご協力をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

(株) いよぎん地域経済研究センター

担当：國遠 知可

TEL：(089) 931-9705

(内線) 8423

図表－５ ２０１３年冬の業種別ボーナス支給見込み額（ＩＲＣアンケート結果より）

（単位：千円、％、カ月、歳）

業種	項目	１人当たり支給額			増減率 対2012年冬	支給月数			平均 年齢
		2012年冬	2013年夏	2013年冬		2012年冬	2013年夏	2013年冬	
製造業	食料品	482	412	492	2.0	1.86	1.50	1.80	36.1
	繊維	233	234	229	▲ 1.6	1.09	1.09	1.07	43.0
	木材・木製品	184	193	187	1.6	0.82	0.86	0.85	41.8
	紙・パルプ	548	522	556	1.5	1.95	1.84	1.96	38.6
	印刷	265	306	270	1.8	1.02	1.21	1.05	42.8
	化学・石油	667	630	667	▲ 0.0	2.49	2.36	2.49	35.9
	機械・金属	582	635	577	▲ 0.8	2.09	2.24	2.06	38.9
	その他製造	459	443	444	▲ 3.1	1.74	1.63	1.70	43.2
	<b>製造業計</b>	<b>484</b>	<b>476</b>	<b>483</b>	<b>▲ 0.3</b>	<b>2.00</b>	<b>1.91</b>	<b>1.98</b>	<b>37.9</b>
非製造業	建設	203	225	221	9.0	0.71	0.79	0.77	43.6
	卸売	496	493	506	2.1	1.67	1.66	1.69	42.0
	小売	388	394	401	3.2	1.55	1.57	1.59	38.2
	運輸	352	334	354	0.5	1.36	1.29	1.37	43.4
	サービス	376	343	378	0.3	1.29	1.17	1.30	39.2
	<b>非製造業計</b>	<b>372</b>	<b>359</b>	<b>378</b>	<b>1.6</b>	<b>1.36</b>	<b>1.31</b>	<b>1.38</b>	<b>40.5</b>
<b>全産業</b>		<b>393</b>	<b>381</b>	<b>398</b>	<b>1.2</b>	<b>1.74</b>	<b>1.67</b>	<b>1.74</b>	<b>39.0</b>

（注） 1. 1人当たり支給額は税込み支給額を平均した。

2. 太字は従業員数の業種別構成実態に合わせて加重平均により修正を行った。